

**稚 内 市**

**(仮称) 生ごみ中間処理施設整備・運営事業**

**審 査 講 評**

**平成 2 2 年 1 月 2 1 日**

**稚内市（仮称）生ごみ中間処理施設整備・運営  
事業者選定審査委員会**

「稚内市(仮称)生ごみ中間処理施設整備・運営事業者選定審査委員会」(以下「審査委員会」という。)は、平成21年7月15日に公示された稚内市(仮称)生ごみ中間処理施設整備・運営事業(以下「本事業」という。)の総合評価一般競争入札に係る事業者提案について審査を行い、最優秀提案者を選定しましたので、選定結果及び審査法表をここに報告いたします。

平成22年1月21日

稚内市(仮称)生ごみ中間処理施設整備・運営事業者選定審査委員会  
委員長 古市 徹

### 1 審査委員会の構成

審査委員会は、次の5名の委員により構成されています。(敬称略)

委員長 古市 徹 (北海道大学大学院工学研究科教授)  
委員 植田 和男 (日本PFI協会理事長)  
委員 村井 公裕 (北海道産業廃棄物協会事務局長)  
委員 遠藤 孝夫 (稚内北星学園大学情報メディア学部准教授)  
委員 工藤 廣 (稚内市副市長)

### 2 審査委員会の開催経緯

審査委員会を次のとおり開催しました。

#### 審査会の開催経過

日付	内容
平成21年7月8日	第1回審査委員会 (委員長選出、要求水準書、入札説明書、事業者選定基準に関する審議)
平成21年11月30日	第2回審査委員会 (審査方法に関する審議、事業者ヒアリング)
平成21年12月15日	第3回審査委員会 (最優秀提案の選定、審査講評に関する審議)

### 3 総合評価の方法

審査委員会は、事業者選定基準に示される次の方法により、総合評価を行いました。

#### (1) 入札価格を除いた性能等に関する評価項目の得点化方法

審査委員会は、事業提案書に記載された内容について、入札説明書及び要求水準書に

示す要件を超える部分について、表2に示す「性能等の評価項目における評価の視点と配点」に基づき、評価に応じて得点を付与する。

なお、入札価格を除いた性能等に関する評価では、各評価項目において、表1「評価項目の採点基準」に示す4段階により評価、採点する。

表1 評価項目の採点基準

評価	評価内容	配点基準
A	特に優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.75
C	やや優れている	配点×0.50
D	要求水準を満たしている程度	配点×0.25

表2 性能等の評価項目における評価の視点と配点

1) 事業計画に関する評価(配点:14点)		
評価項目	評価の視点	配点
事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施にあたっての基本的考え方</li> <li>・民間資金、ノウハウを活用することによる効果</li> <li>・事業組み立ての考え方</li> </ul>	7
採用技術の信頼性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業における有効性</li> <li>・連続安定可動性</li> <li>・トラブル誘発箇所の対策及び安全性</li> <li>・メタンガス回収能力</li> </ul>	7
事業遂行上の独創性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード、ソフト両面における提案内容の独創性</li> </ul>	

2) 環境・循環型社会への配慮に関する評価(配点:22点)		
評価項目	評価の視点	配点
環境保全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全（排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等）対策の妥当性</li> <li>・周辺地域の環境への配慮</li> </ul>	2
地球環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの削減量</li> </ul>	4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然エネルギーの活用方法の適切性</li> <li>・省資源、省エネルギーへの配慮</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他地球環境への配慮</li> </ul>	
市の施策への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境都市構築への協力に関する考え方（総合計画、環境基本計画、ごみ処理基本計画 等）</li> </ul>	4
回収エネルギー等の活用	回収エネルギーの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・回収ガスの活用方法</li> <li>・回収熱の活用方法</li> <li>・エネルギー回収効率</li> <li>・需要の安定性、確実性</li> </ul>	12

	副生成物の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱水ろ液及び残渣の活用方法</li> <li>・需要の安定性</li> </ul>	
	余剰エネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余剰エネルギーの有効活用先及び活用量</li> <li>・附帯事業に関する考え方</li> </ul>	

3) 地域経済への貢献に関する評価(配点:12点)		
評価項目	評価の視点	配点
建設時の地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業等の活用に関する考え方</li> </ul>	6
管理運営時の地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業等の活用に関する考え方</li> <li>・雇用の確保に関する考え方</li> </ul>	6

4) 施設計画に関する評価(配点:12点)		
評価項目	評価の視点	配点
建築計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の平面、断面計画の妥当性</li> <li>・施設の構造計画の適切性</li> <li>・施設の防災計画の適切性</li> <li>・施設の寒冷地対策の適切性</li> </ul>	4
施設配置・レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置計画の適切性</li> <li>・車両動線、作業動線、見学動線計画の適切性</li> <li>・構内道路、植栽、外柵等の周辺地域への配慮</li> </ul>	3
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺環境と調和したデザイン性</li> </ul>	3
工事計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設期間の適切性</li> <li>・工事管理（施工監理、公害防止対策、周辺地域への配慮等）の適切性</li> </ul>	2

5) 中間処理の性能に関する評価(配点:24点)		
評価項目	評価の視点	配点
処理システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理システムの安定性</li> <li>・処理システムの簡略性</li> <li>・処理システムの制御性（自動化、操作性）</li> </ul>	5
施設の安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備、機器等の安全対策</li> <li>・装置、機器類配置の適切性</li> <li>・防災施設設置の適切性</li> </ul>	4
処理対象物の量変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽負荷運転及び高負荷運転への対応の考え方</li> <li>・処理対象物の量の変動への対応の適切性</li> </ul>	4

処理対象物の質 変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画ごみ質の考え方</li> <li>・各ごみ質における処理能力の考え方</li> <li>・処理対象物の質変化に対する反応性</li> <li>・処理対象物の質の変化への対応の適切性</li> </ul>	4
処理対象物供給条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物（生ごみ）、水産廃棄物の受入（貯留方法）、前処理（破碎、選別等）の適切性</li> <li>・下水道汚泥の受入（貯留方法）、前処理（脱水等）の適切性</li> </ul>	4
用役量の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気、ガス、水道等使用量の妥当性</li> <li>・薬品、副資材等使用料の妥当性</li> </ul>	3

6) 運営・維持管理計画に関する評価(配点:24点)		
評価項目	評価の視点	配点
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員、人材配置の適切性</li> <li>・運営計画（SPCマネジメント等）の適切性</li> </ul>	4
運転管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転の安定性（安定稼働のための工夫）</li> <li>・運転の柔軟性</li> <li>・モニタリングへの協力に対する考え方</li> </ul>	4
安全・衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営、維持管理における安全性</li> <li>・運営、維持管理における衛生性</li> </ul>	4
緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・停電時の対策及びその適切性</li> <li>・地震時の対策及びその適切性</li> <li>・火災、ガス漏れ等の事故発生時の対策及びその適切性</li> <li>・その他、緊急時の対策及びその適切性</li> </ul>	4
点検・整備・補修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備、補修計画の適切性</li> <li>・補修の簡易性</li> <li>・機器更新に関する考え方</li> <li>・点検計画の適切性</li> <li>・法定検査計画の適切性</li> </ul>	4
地域社会への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者対応方法の適切性</li> <li>・周辺住民への配慮</li> <li>・情報公開の方針及び具体的方策</li> </ul>	4

7) 経営計画に関する評価(配点:12点)		
評価項目	評価の視点	配点
収支計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備費及び運営維持管理費の妥当性</li> <li>・事業収支計画の適切性</li> <li>・余剰積立金の考え方</li> <li>・返済計画の安定性（DSCR、LLCR）</li> </ul>	5

資金調達計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金調達方法の適切性 (出資、借入、調達先、調達条件等)</li> <li>・ 資金調達の確実性</li> </ul>	4
リスク対応の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リスク顕在時の対応策 (保険の付保等)</li> <li>・ 事業破綻回避の考え方</li> <li>・ S P C 又は出資者の破綻時の対処方法</li> </ul>	3

## (2) 入札価格の得点化方法

入札価格については、以下の方法で得点を算定する。

- ① 入札参加者中、入札価格から市の税金等収入を減じた額の現在価値※(割引率4%)が最小となった提案に対し、配点の満点である **80** 点を付与する。
- ② 入札参加者中、現在価値が最大となった提案に対し、最大の現在価値に対する最小の現在価値の割合を求め、当該割合に **80** 点を乗じて得た得点を付与する。
- ③ 提案した現在価値が①と②の間にある提案に対しては、最大の現在価値の提案と最小の現在価値の得点の傾きをとり、そこに提案した現在価値を当てはめ算出される得点を付与する。

※ 現在価値: 想定される期間の総費用に一定の割引率を乗じて、発生時期の異なる費用を同一の貨幣価値の下で比較可能とするもの。

## 4 審査結果

審査委員会は、大林組グループ及び J F E エンジニアリンググループの 2 グループから提出された事業提案書について、事業者選定基準に基づき総合評価を行いました。

その結果、大林組グループの事業提案書を最優秀提案として選定しました。

### (1) 総合評価結果

各グループの提案内容について評価した結果は次のとおりです。

表3 総合評価結果一覧表

評価項目	配点	大林組グループ	J F Eエンジニアリング グループ
○ 性能等の評価			
① 事業計画			
ア) 事業実施方針	7	4.55	4.55
イ) 採用技術の信頼性	7	4.90	4.55
ウ) 業務遂行上の獨創性			
小 計	14	9.45	9.10
② 環境・循環型社会への配慮			
ア) 環境保全対策	2	1.10	1.20
イ) 地球環境への配慮	4	2.60	2.60
ウ) 市の施策への協力	4	2.20	2.60
エ) 回収エネルギー等の活用	12	9.00	7.80
小 計	22	14.90	14.20
③ 地域経済への貢献			
ア) 建設時の地域貢献	6	3.30	3.30
イ) 管理運営時の地域貢献	6	3.00	3.30
小 計	12	6.30	6.60
1 中 計	48	30.65	29.90
2 整備・運営に係る提案事項			
④ 施設計画			
ア) 建築計画	4	3.00	2.60
イ) 建設配置・レイアウト	3	1.95	1.65
ウ) 景観	3	1.80	1.65
エ) 工事計画	2	1.10	1.10
小 計	12	7.85	7.00
⑤ 中間処理の性能			
ア) 処理システム	5	3.50	3.50
イ) 施設の安全性	4	2.40	2.60
ウ) 処理対象物量変動への対応	4	2.60	2.40
エ) 処理対象物の質変化への対応	4	2.20	2.60
オ) 処理対象物供給条件	4	2.40	2.00
カ) 用役量の妥当性	3	1.65	1.65
小 計	24	14.75	14.75
⑥ 運営・維持管理計画			
ア) 運営体制	4	2.20	2.20
イ) 運転管理	4	2.40	2.20
ウ) 安全・衛生	4	2.20	2.20
エ) 応急時の対応	4	2.40	2.20
オ) 点検・整備・補修	4	2.20	2.20
カ) 地域社会への配慮	4	2.00	2.60
小 計	24	13.40	13.60

2 中 計	60	36.00	35.35
3 経営等に係る提案事項			
⑦ 経営計画			
ア) 収支計画	5	3.00	3.00
イ) 資金調達計画	4	2.60	2.40
ウ) リスク対応の適切性	3	1.65	1.80
3 中 計	12	7.25	7.20
性能等の評価点	120	73.90	72.45
○ 入札価格の評価			
入札価格の評価点	80	80.00	78.64
得点合計	200	153.90	151.09

(2) 各評価項目の講評

各評価項目において、審査委員会が主に評価した事項を以下に示します。

評価項目		大林組グループ	J F Eエンジニアリング グループ		
性能等の評価	1 事業コンセプト等に係る提案事項	① 事業計画	ア) 事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施にあたっての基本的考え方について効果的な提案がされている。</li> <li>・工事監理、建設、管理・運営を異なる事業者により行うことでリスク分散が図られている。</li> <li>・まちづくりの中で人と自然の共生をスタンスとして事業が位置付けられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施にあたっての基本的考え方について効果的な提案がされている。</li> <li>・同一の事業者による建設、管理・運営の実施により緊密な連携による事業実施が期待できる。</li> <li>・会議の体制方針、協議会の具体的内容が示されている。</li> </ul>
			イ) 採用技術の信頼性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続安定可動性について具体的なかつ有効な提案がされている。</li> <li>・トラブルの対策及び安全性について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続安定可動性について具体的なかつ有効な提案がされている。</li> <li>・トラブルの対策及び安全性について、豊富な実績、経験から詳細かつ効果的な提案がされている。</li> </ul>
			ウ) 業務遂行上の独創性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの変動や対処、システム連携など、総合的な信頼性について有効な提案がされている。</li> </ul>	
	2 環境・循環型社会への配慮	②	ア) 環境保全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水、騒音、振動、悪臭に対する対策について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水、騒音、振動、悪臭に対する対策について特徴的かつ効果的な提案がされている。</li> </ul>
			イ) 地球環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの削減について効果的な提案がされている。</li> <li>・自然エネルギーの活用、省エネ・省資源対策について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの削減について効果的な提案がされている。</li> <li>・自然エネルギーの活用、省エネ・省資源対策について効果的な提案がされている。</li> </ul>



2 整備・運営に係る提案事項	③ 地域経済への貢献	ウ) 市の施策への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境都市を目指す稚内市に対しての、環境面での貢献について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境都市を目指す稚内市に対しての、環境面での貢献について効果的な提案がされている。</li> <li>市民参加、情報発信機能などについて具体的な提案がされている。</li> </ul>
		エ) 回収エネルギー等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>回収エネルギー及び副生成物の活用について具体的な提案がされている。</li> <li>グリーン電力証書等の活用についてなど有効な提案がされている。</li> <li>CNG活用や堆肥化資材としての具体的な活用がされており、特に、CNG活用による収集車の運行によるPR効果が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回収エネルギーの活用について具体的な提案がされている。</li> <li>グリーン電力証書等の活用についてなど有効な提案がされている。</li> </ul>
		ア) 建設時の地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元企業及び地域の人材活用、地元からの積極的な調達について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元企業及び地域の人材活用、地元からの積極的な調達について効果的な提案がされている。</li> </ul>
		イ) 管理運営時の地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元企業、道内企業の事業参画及び地元優先雇用の実施、地元からの優先的な調達について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元優先雇用の実施、地元からの優先的な調達について効果的な提案がされている。</li> <li>地元企業へのバイオマス、PFI事業に関するノウハウの移転について提案がされている。</li> </ul>
	④ 施設計画	ア) 建築計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終埋立量の減量化はもとより、地球環境保全や循環型社会形成の推進などの配慮についても果敢な提案がされている。</li> <li>隣接する最終処分場との調和について具体的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終埋立量の減量化はもとより、地球環境保全や循環型社会形成の推進などの配慮についても効果的な提案がされている。</li> <li>自然環境との調和について具体的な提案がされている。</li> </ul>
		イ) 建設配置・レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業用地の特性を十分考慮したうえで、配置計画、動線計画について効果的な提案がされている。</li> <li>保守点検スペースの確保などについて具体的かつ有効な提案がされている。</li> <li>構内道路、植栽、外柵等の周辺地域への配慮について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置計画、動線計画について効果的な提案がされており、特に動線の分離による安全性確保について有効な提案がされている。</li> <li>構内道路、植栽、外柵等の周辺地域への配慮について効果的な提案がされている。</li> </ul>
		ウ) 景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺環境や隣接施設に配慮した緑化計画について効果的な提案がされている。</li> <li>周辺環境や隣接施設に配慮した色調について有効な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺環境に配慮した緑化計画について効果的な提案がされている。</li> <li>自然地形に馴染む施設構成、景観に馴染む色調について有効な提案がされている。</li> </ul>

		エ) 工事計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計、建設、試運転、検査計画について適切な提案がされている。</li> <li>工事管理等について適切な提案がされている。</li> <li>周辺環境への配慮や緊急時の対応、工事車両搬出入について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計、建設、試運転、検査計画について適切な提案がされている。</li> <li>工事管理等について適切な提案がされている。</li> <li>周辺環境への配慮や緊急時の対応、工事車両搬出入について効果的な提案がされている。</li> </ul>
⑤ 中間処理の性能		ア) 処理システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数系列化により運転の柔軟性及び安定的な運転が確保されている。</li> <li>自動化や作業簡略化について効果的な提案がされている。</li> <li>無動力攪拌やガスエンジンの複数化など独創的な提案がされている。</li> <li>試運転、性能試験、教育訓練、トラブル対応等について具体的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>容量及び処理日数に余裕を持たせることにより、安定的な運転が確保されている。</li> <li>自動化や作業簡略化について効果的な提案がされている。</li> <li>試運転、性能試験、教育訓練、トラブル対応等について具体的な提案がされている。</li> </ul>
		イ) 施設の安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な瑕疵担保に対する設定、提案について適切な提案がされている。</li> <li>災害及び非常時対策について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な瑕疵担保に対する設定、提案について適切な提案がされている。</li> <li>災害及び非常時対策について具体的かつ効果的な提案がされている。</li> </ul>
		ウ) 処理対象物量変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>余裕を持った設備整備により処理対象物の増加に対して有効な提案がされている。</li> <li>機器の複数化により増加ばかりでなく減少への対応についても有効な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>余裕を持った設備整備により処理対象物の増加に対して有効な提案がされている。</li> </ul>
		エ) 処理対象物の質変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>系列の複数化やスラリー化による質の均一化、定期的な性状管理による効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>余裕のある設備設定により有効な対応が提案されている。</li> <li>電力自給下限ごみ質について余裕幅が大きい提案がされている。</li> </ul>
		オ) 処理対象物供給条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理対象物の受入について具体的かつ有効な提案がされている。</li> <li>処理対象物の搬入時の特性が良く理解され、効果的な提案がされている。</li> <li>受入施設の複数系列化により安定的な運用を確保している。</li> <li>臭気対策や衛生管理について効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理対象物の受入について具体的かつ有効な提案がされている。</li> <li>処理対象物の搬入時の特性が良く理解され、効果的な提案がされている。</li> <li>寒冷状況対策について効果的な提案がされている。</li> </ul>
		カ) 用役量の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質収支計画について適切な提案がされている。</li> <li>薬品使用の抑制や処理水の再利用、省エネ機器の使用など効果的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質収支計画について適切な提案がされている。</li> <li>薬品使用の抑制、雨水利用や処理水の再利用など効果的な提案がされている。</li> </ul>

	⑥ 運営・維持管理計画	ア) 運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員、有資格者配置について効果的な提案がされている。</li> <li>・運営方針実現のための適切な運營業務内容について効果的な提案がされている。</li> <li>・代表企業による業務監視、モニタリングの強化などにより運営の安定性確保が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員、有資格者配置について効果的な提案がされており、特に管理の多人数化による非常時の対応力が評価できる。</li> <li>・運営方針実現のための適切な運營業務内容について効果的な提案がされている。</li> </ul>
		イ) 運転管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定性確保、運転の柔軟性に関し特徴的かつ的確な提案がされている。</li> <li>・モニタリングに対する協力体制や運営・維持管理マニュアルについて具体的な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定性確保、運転の柔軟性についての的確な提案がされている。</li> <li>・モニタリングに対する協力体制や運営・維持管理マニュアルについて具体的な提案がされている。</li> </ul>
		ウ) 安全・衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働安全と衛生の確保及び事故防止についての的確な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働安全と衛生の確保及び事故防止についての的確な提案がされている。</li> </ul>
		エ) 応急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時について適切な想定に立った的確な対策・対応が提案されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の適切な対策・対応方法について適切な提案がされている。</li> </ul>
		オ) 点検・整備・補修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化について効果的な提案がされている。</li> <li>・点検計画についての的確な提案がされている。</li> <li>・複数系列化等によるメンテナンスの柔軟性や機能維持の確実性が評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化について効果的な提案がされている。</li> <li>・点検計画について豊富な実績、経験からの的確な提案がされている。</li> </ul>
		カ) 地域社会への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民対応の方法及び考え方、周辺地域に対する配慮、情報提供に対する考え方等について適切な提案がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民対応の方法及び考え方、周辺地域に対する配慮、情報提供に対する考え方等について適切な提案がされている。</li> <li>・見学者への対応を通じ、市民の関心を高める積極的な提案がされている。</li> </ul>
		3 経営等に係る提案事項	⑦ 経営計画	ア) 収支計画

		<p>1) 資金調達計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関の融資確約書が添付されており、資金調達の確実性が担保されている。</li> <li>・PIRRが借入金利を超えており適切な金利設定がされている。</li> <li>・出資金について適切な金額及び構成会社の出資割合が妥当に設定されている。</li> <li>・劣後融資枠、追加劣後融資枠が提案され不測の事態に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関の融資確約書が添付されており、資金調達の確実性が担保されている。</li> <li>・PIRRが借入金利を超えており適切な金利設定がされている。</li> <li>・事業に対して十分な出資金額が設定されており、出資割合も妥当に設定されている。</li> <li>・十分な劣後融資枠が提案されている。</li> </ul>
		<p>2) リスク対応の適切性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定するリスクの種類及びその対策が適切に提案されている。</li> <li>・適切な保険付保等が提案されている。</li> <li>・出資者破綻時の対応について適切に提案されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定するリスクがよく分析されたうえで適切な対策が提案されている。</li> <li>・適切な保険付保等が提案されている。</li> <li>・劣後融資の株式転換など独創的な提案がされている。</li> <li>・SPC、出資者破綻時の対応について各事業期間における対応が具体的かつ適切に提案されている。</li> </ul>
入札価格の評価	入札参加グループの入札価格 (現在価値換算額)	2,433,917 千円	2,476,071 千円

## 5 総評

本事業の総合評価一般入札に参加した2グループの提案は、いずれも、本事業の目的及び各業務の内容を踏まえたうえで、市が要求する水準を上回る優れた提案内容でした。両グループにおいては、提案書の作成に多大な労力を費やされたものと推察でき深く感謝します。

稚内市（仮称）生ごみ中間処理施設整備・運営事業者選定審査委員会が実施する総合評価における性能等に関する評価においては、それぞれの評価において、各審査委員の平均点を付与することとしました。

2グループの提案については、いずれの項目においても提案内容にそれぞれ特色があり、大林組グループの提案書においては、「回収エネルギーの活用」、「建築計画」、「処理システム」において優れた提案が行われるとともに、価格の抑制も実現されていました。一方、JFEエンジニアリンググループの提案書においては、「処理システム」、「地域社会への配慮」、「処理対象物の質変化への対応」において優れた提案が行われました。

審査委員会としては、予め公表した事業者選定基準に基づき慎重かつ厳正な審査を行った結果、大林組グループによる提案を最優秀提案として選定しました。

今後、市による落札者決定を経て、事業契約を締結し、事業を実施していくこととなりますが、その際には、PFI事業として公共サービスのさらなる向上のため、大林組グループに対しては、審査委員会として次の点について配慮を期待します。

- ① 総合計画、環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画等を踏まえ、循環型社会形成の達成や環境都市構築にむけた事業実施
- ② 隣接する最終処分場との連携
- ③ 市や関係機関との緻密な連携
- ④ 提案書記載内容の確実な実行
- ⑤ 情報提供や広報の積極的な実施及び実施にあたっての市民団体等の活用